

平成26年4月30日
定例記者会見

子育て支援課
藤倉児童館

「SOAT・藤倉児童館協働プロジェクト」

～ソアトと遊ぼう～

平成26年度日本郵便・年賀寄付金助成事業

3.11で心に何かしらの傷を負った子どもたちを対象に“遊び”をとおり、自主性、社会性、創造性を身につけていくことを目的としている。

子どもたちとソアトスタッフで作品を共同で制作するアートワークショップを定期的に行うことでコミュニケーションを深め“ひと”とのつながりを感じ、また、共同制作した作品を見学館の中だけでなく、企業に展示など発表の場所や機会を設けてあげることで“社会”とのつながりも感じてもらう。

= 日程 =

- ① 5月21日(水) 「紙であそぼう」
- ② 6月11日(水) 「でっかくスタンプ」
- ③ 7月25日(金) 「大学生とあそぼう！
段ボールでトンネル遊び
・ロボットづくり」
- ④ 9月10日(水) 「庭アートあそび！」
- ⑤ 10月29日(水) 「ハロウィンを楽しもう」



【定員】30名 【参加費】無料

SOAT：NPO法人東北の造形作家を支援する会

2011年4月1日より被災した作家やアートグループ、学校などに全国から届けられた画材などを届ける被災地支援活動を開始。企業や団体、個人からの支援金により被災地の子どもたちの心のケアを目的としたアート支援および被災地NPOの支援活動をサポートしています。

問い合わせ
健康福祉部子育て支援課
藤倉児童館
TEL・FAX 366-3003

生活保護受給者就労支援の取組について

1 背景

就労可能な生活保護受給者の方々については、生活保護の制度上、働ける能力を活用して就労することが求められている。また、就労していない状況が長く続くと、生活保護を受給する期間が長期化する傾向がある。

社会福祉事務所と関係機関は、生活保護受給者で稼働可能な方々の就労を支援することにより、生活保護受給者が生活保護から早期脱却できるよう取り組んでいる。

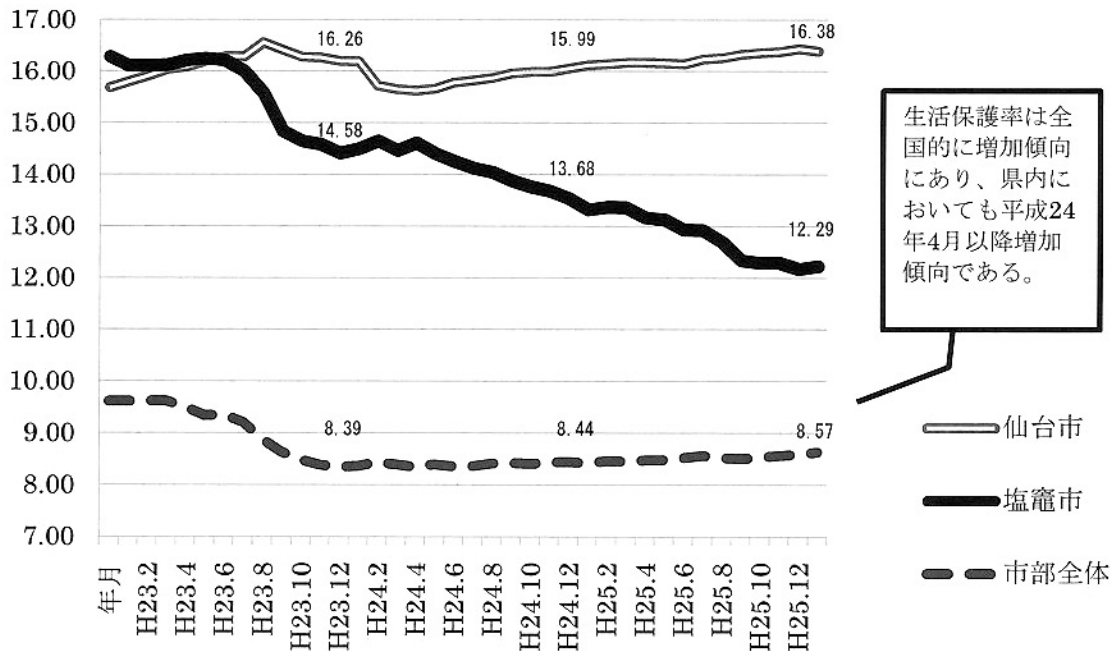
2 取組内容

平成21年度から、社会福祉事務所に就労支援員を配置して、現業員（ケースワーカー）とともに就労支援に取り組んでいる。

就労支援員と現業員は、就労意欲の喚起、就労相談、履歴書の書き方及び面接に関する指導、ハローワークとの連絡調整等を行い、長期の失業で自信を失っていたり、生活リズムが乱れている方々への助言や指導を通して、生活習慣の立て直しや心理面のサポートを行い、就労に結び付けている。

3 成果（平成25年度）

- (1) 就労支援回数 延べ500回
- (2) 就労開始件数 44名
- (3) 保護廃止件数 20世帯
- (4) 保護率の推移表（単位：‰）



4 今後の取組

- (1) 就労意欲・能力を有している方への就労支援の継続
- (2) 就労意欲はあるが、身体的事情等で稼働能力が充分でない方への就労支援のための就労受入先の拡大

浦戸諸島無人島の防潮堤災害復旧について

浦戸諸島の鷺島、大森島、漆島、馬の背島の4つの無人島における海岸堤防（防潮堤）の災害復旧については、地元住民、市議会、市の連名により必要最低限の復旧の実施について国に働きかけるよう県議会議長あて請願書を提出していたところであるが、4月14日、「災害復旧予算で土砂流出等を防止する必要最低限の対策を認める」という内容の連絡が、東北農政局経由で農林水産省から宮城県農林水産部にあったことが、本市あて伝えられた。

今後については、宮城県が土砂流出等を防止する必要最低限の対策に向けた調査設計を進め、見直し対応をしていくこととなる。

1. 防潮堤災害復旧にかかる請願書に関する経過

- | | |
|------------------|--|
| 平成 26 年 2 月 5 日 | 浦戸地区の防潮堤整備に関する説明会の席上、浦戸地区の住民及び漁業関係者から、養殖漁場の確保、景観保持等の観点から無人島についても必要最低限の補修等の災害復旧を求める意見が出される。 |
| 平成 26 年 2 月 25 日 | 塩竈市浦戸振興推進協議会、県漁協浦戸支所運営委員長、同東部支所運営委員長の連名で、市長及び市議会議長あて、必要最低限の災害復旧を施設管理者である宮城県に働きかけてほしい旨の要望書が提出される。 |
| 平成 26 年 2 月 27 日 | 県議会議長あて、市長、市議会議長、上記浦戸3団体の連名で、無人島の土砂流出等防止対策に関して、政府及び国会に対する意見書の提出を求める請願書を提出。 |
| 平成 26 年 3 月 20 日 | 宮城県議会 2 月定例会において請願内容について審議、3 月 20 日、県議会から国への意見書が可決され、同日付けで意見書が提出された。 |
| 平成 26 年 4 月 14 日 | 東北農政局から宮城県農林水産部あて、「災害復旧予算で土砂流出等を防止する必要最低限の対策を認める」旨の連絡があった。
塩竈市に対しては県農林水産部から電話連絡があった。 |

2. 土地所有者の意向調査の状況

平成 26 年 3 月末までに無人島の農地にかかる土地所有者 11 名に対する意向調査を終了。
11 名中 1 名（2 か所所有）が時期は未定だが営農再開の意思あり。他 10 名については自作については困難との意向であった。この結果については県に報告しており、今後の検討の際の参考とされる。

塩竈市魚市場の水揚げ状況と新魚市場整備事業等の状況について

1. 平成 21～25 年 塩竈市魚市場水揚げ推移 (単位 数量：トン 金額：千円)

区分	平成21年		平成22年		平成23年		平成24年		平成25年	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
漁船計	7,929	5,705,623	7,772	5,326,147	12,195	6,457,012	7,585	5,346,678	7,465	4,878,032
搬入魚計	4,660	2,583,733	9,052	4,665,047	10,465	3,973,285	17,890	8,796,145	10,783	4,408,562
合計	12,589	8,289,356	16,824	9,991,194	22,660	10,430,297	25,475	14,142,823	18,248	9,286,594

東日本大震災発災直後の平成 23 年は、県内の魚市場が被災する中でも、震災から約一か月後の 4 月 17 日に、本市魚市場が水揚げを再開したことにより、他港に水揚げできない漁船が入港したこともあり 100 億円水準を保てた。

平成 24 年は、各漁港の復旧が進み、漁船が元の水揚げ港へ戻る中、大豊漁であったクサカリツボダイを中心とした貨物自動車搬入に支えられ、141 億円の水揚げであったが、25 年は一転、ツボダイが不漁となり約 93 億の水揚げとなっている。

今年度は、新魚市場の整備を進める一方で、魚市場施設の維持管理の採算ベースとなる 100 億円の水揚げ額の維持を目指して取り組んでいく。

平成 26 年 1 月～3 月までの水揚げ状況 (単位 数量：トン 金額：千円 比較：%)

	平成26年		平成25年		比較	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
漁船計	882	516,832	1,167	656,142	75.58	78.77
搬入魚計	1,460	727,454	379	341,239	385.22	213.18
合計	2,342	1,244,286	1,546	997,381	151.49	124.76

2. 新魚市場整備をはじめとする事業の取り組み状況

(1) 新魚市場整備事業

水産庁の補助事業により「高度衛生管理型荷さばき所」機能を有した魚市場として建替える。衛生管理の高度化により「三陸塩竈ひがしもの」をはじめとする水揚げされる魚の付加価値を高めるとともに、背後の水産加工業への加工原料の供給を目指す。現在、荷さばき所 B 棟を 26 年度内の完成を目指し、施工中。

(2) 水産業共同利用施設復興整備事業

復興交付金事業として本市水産業の復興に資する施設の整備を行う事業で、冷凍冷蔵庫等の鮮度保持施設や水産加工施設、水産廃棄物処理施設の拡充が図られる。9 社が事業採択され、平成 25 年度末までに 4 社が完成、稼働中。26 年度に 4 社が、27 年度に 1 社が完成予定。

(3) 遠洋底曳網漁業水揚げに対する補助 平成 26 年度～

本市魚市場の水揚げを大きく支える遠洋底曳網漁業は、塩釜漁港の水深が浅いため、仙台港で水揚げした魚を、貨物自動車で魚市場へ運搬し、選別、販売を行っており、運送費は生産者負担となっている。燃油高が続く中、水揚げの安定確保を図るため、運送費の一部を支援する目的で、水揚げ金額の 1000 分の 0.5 を補助するもの。

(4) その他の事業

漁船誘致策として、平成 26 年 3 月下旬、宮崎県及び大分県のマグロ延縄漁船の生産者組合を訪問し、意見交換を実施。今後も他地区あるいは他の漁業種について実施予定。

「塩竈2割増商品券」を販売します！

市民の生活支援による購買意欲の喚起と、市内商店の売上向上を通じて、消費税率引上げなどの影響を緩和し、地域経済の活性化を図るため、市が補助金を交付し、塩釜商工会議所が発行する割増商品券事業についてお知らせいたします。

1. 販売日時 平成26年7月1日（火）～ 売り切れ次第終了
2. 販売場所
 - ◆常設販売…塩釜商工会議所、しおがま・まちなかの駅（塩釜商業協同組合）、市役所互助会売店
 - ※特設の販売場所等については、詳細が決まり次第お知らせします。
3. 販売内容
 - ◆発行総額…240,000千円（割増額40,000千円）
 - ◆販売総額…1冊12,000円（2割増）を1万円で販売し、2万セットで2億円
 - ◆発行単位…1,000円券×12枚
 - ・共通券 5,000円（店舗面積が300㎡超の中・大規模小売店でも使用可能）
 - ・専用券 7,000円（店舗面積が300㎡以下の小規模店舗でのみ使用可能）
 - ◆購入制限…お一人様3セットまで
4. 使用期限 平成26年12月31日まで
5. 使用方法 取扱店で現金と同様に使用できますが、つり銭はできません。また、商品券事業の目的から以下のような場合は、使用不可とします。現金との引き換えも行いません。
 - 1) 出資や債務の支払い（公共料金や税金、振込代金、振込手数料など）
 - 2) 有価証券、商品券、プリペイドカード、チケット、切手、官製はがき、回数券、乗車券などの購入
 - 3) 仕入れなどの事業資金
6. 取扱店舗 「塩竈2割増商品券」は、取扱店として登録された市内の店舗（取扱ポスターを掲示してある店舗）で使用できます。また、商品券お買い上げの際に取扱店一覧をお渡しします。
7. 取扱店募集
 - ◆募集期間 平成26年5月26日（月）～ 6月20日（金）まで（以降、随時）
 - ※期間内に申込した事業者は、取扱店一覧に掲載
 - ◆受付会場
 - 1) 塩釜市商業協同組合（本町5-6） 10:00～17:00
 - 2) 塩釜商工会議所（港町1-6-20） 10:00～17:00
 - ◆対象業種 市内に店舗がある民間事業者（小売業、飲食業、洗濯、理容、旅館等の各種サービス業及び運輸通信業（旅行業を含む）
 - ◆対象外業種 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条に規定する風俗営業及び性風俗関連特殊営業並びにこれらに類似する営業を行う者（ただし、塩釜商工会議所の会員及び塩釜市商業協同組合の組合員は、除く）。業務の内容が公序良俗に関する営業を行う者。

※取扱店募集に関して詳しくは、広報しおがま5月号などでお知らせします。

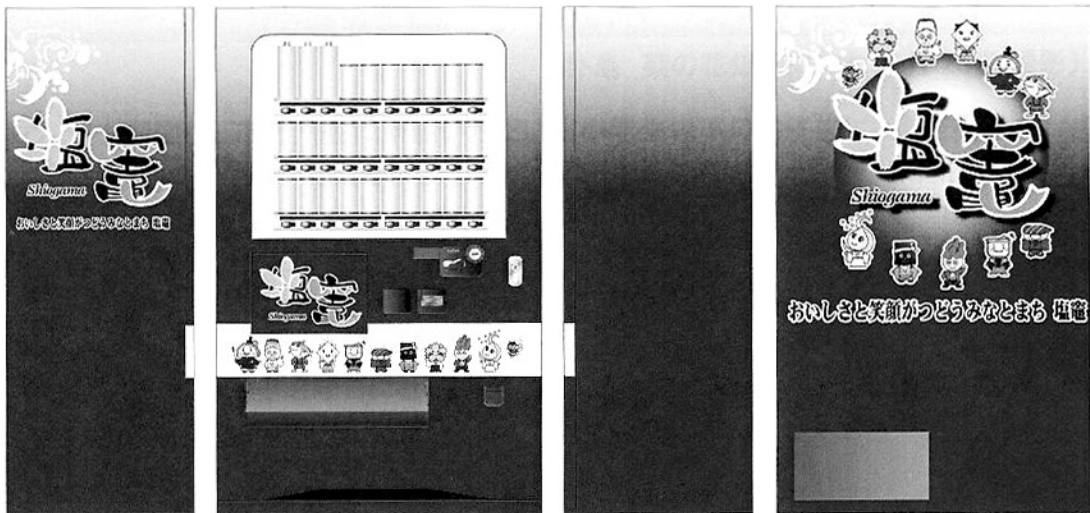


「塩竈2割増商品券」についてのお問い合わせは

塩釜商工会議所	TEL 022-367-5111
塩釜市商業協同組合	TEL 022-367-9651
塩竈市産業環境部商工港湾課	TEL 022-364-1124

Free Wi-Fi 機能付自動販売機の設置について

1. 趣旨 今後増加が予想される外国人観光客の受け入れ態勢整備の一環として、Free Wi-Fi 機能付き自動販売機を設置します。
2. 概要
- ①設置場所 塩竈市海岸通駐車場（塩竈市海岸通3-14地内）
 - ②設置時期 平成26年5月上旬～中旬
 - ③設置台数 1台
 - ④主な特徴
 - ・Wi-Fi 機能付き自動販売機の設置は県内では6例目。自治体での導入及び、広く観光客等の利用を目的とするものは初めて。
 - ・自動販売機を中心に半径50m程度のエリアで、通信キャリアを限定せず、Wi-Fi に対応したすべての端末で、無料高速インターネット接続が利用可能。
 - ・Wi-Fi 搭載自動販売機1台につき、Wi-Fi 対応機器を数十台程度まで同時接続できる。
 - ・塩竈のゆるキャラとロゴをラッピング
 - ⑤設置協力 アサヒ飲料株式会社
 - ⑥外 観 （平面図）



3. 今後の予定 各種制度等を活用しながら、市内観光施設のほか JR 本塩釜駅から塩竈神社までを巡る観光ルートに無線 LAN ポイントを設置するなどインバウンド対策を進めていく予定。

この情報に関するお問い合わせ先 塩竈市役所産業環境部観光交流
Tel.022-364-1165

市営汽船の運航状況について

1. ゴールデンウィーク期間の運航について

春麗らかな浦戸諸島は、爽やかな潮風が心地良い絶好のウォーキングシーズンを迎えております。

浦戸諸島の菜の花は、現在8分咲き。5月のゴールデンウィークに満開となります。

菜の花・青い海の色鮮やかなコントラストを眺めながらの島歩きに、どうぞお越してください。

ゴールデンウィーク(5/3～6)の市営汽船出港時刻

○下り 塩竈発→朴島ゆき

塩竈発	7:15	9:30	11:00
	13:00	15:30	18:00

○上り 朴島発→塩竈ゆき

朴島発	6:45	8:15	10:50
	12:10	14:00	16:30



(朴島 菜の花畑とタブ林 4月25日撮影)

ゴールデンウィーク期間中、市営汽船に乗船いただいた小学生以下のお子様にも、食育推進ネットワーク「食の学人の会」からご提供いただきました「菜の花の種入りポストカード」を、乗船記念としてプレゼントいたします。

2. ウィークエンド特別便の運航期間延長について

平成25年10月18日から、毎週金曜日に社会実験として運航していました、塩竈発19:30の「ウィークエンド特別便」の運航を、平成27年3月末まで1年間延長いたします。

○平成25年10月18日～平成26年3月28日までの乗船者数(22回運航)

ウィークエンド便 (19:30)乗船者数	行先別内訳	18:00乗船者数	18:00+19:30 乗船者数
342名 (1日平均 15.5名)	桂島 195名、野々島 52名 石浜 11名、寒風沢 84名	494名 (1日平均 22.5名)	836名 (1日平均 38.0名)

※従来の最終便(塩竈発 18:00)平均乗船者数と 18:00、19:30 の合計乗船者数を比べると、1日あたり約8人、27%増加。

お問合せ：塩竈市産業環境部
浦戸振興課市営汽船係
電話：022-361-7710

「牛生雨水ポンプ場」 竣工記念式典

1. 実施目的

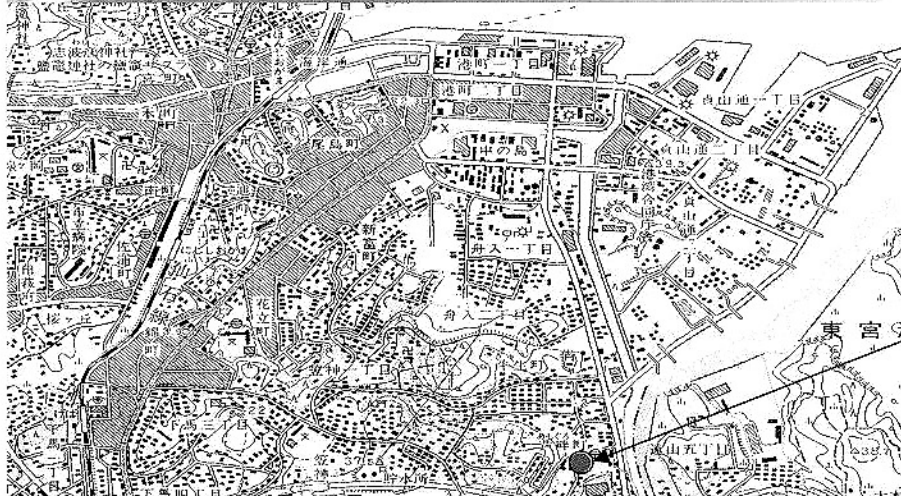
平成22年度から整備を進めてきた牛生第一排水区31.7区（芦畔町地区・牛生町地区）の雨水を速やかに排除し、浸水被害を低減するため整備を進めてきた「牛生雨水ポンプ場」の完成、稼働にあたり、関係者、地元町内会等関係者を招待し、竣工記念式典を行います。

2. 開催概要

- (1) 開催日時 平成26年5月30日（金） 10:30～
- (2) 主催 塩竈市（主管：建設部下水道課）
- (3) 場所 牛生雨水ポンプ場施設内（塩竈市芦畔町地内）

3. 整備概要

- (1) 整備年度 平成22年度から平成25年度
- (2) 事業費 約1.4億円
- (2) 整備概要 土木工事（躯体・地下構造部・流入管渠・吐出槽・場内整備等）
建築工事（鉄筋コンクリート1階建て上屋、1階床面積 A=653 m²）
機械設備工事（φ700mm 電動ポンプ1基、操作盤等）
電気設備工事（受変電設備、自家発電機等）



牛生雨水ポンプ場

浦戸小・中一貫校に向けた特色ある取組について

塩竈市教育委員会 学校教育課

平成27年4月から、新しく「浦戸小・中一貫校」がスタートします。一貫校開始に向け今年度もさまざまな取組を行うこととしていますので、浦戸二小・浦戸中の一貫校に向けた主な取組を紹介します。

1 ねらい

- ①特認校の制度を生かした小中一貫校により、浦戸における魅力的で充実した教育の継続を目指す。（浦戸の学校の存続）
- ②浦戸第二小学校と浦戸中学校において、既に一貫的教育が為されており、大きな成果を上げているところである。このような教育課程を将来的にも継続・発展できるよう制度化する。（魅力ある教育の継続と発展）
- ③学校名を「浦戸小・中学校」とし、小中の更なる一体感を醸成することで望ましい人間関係づくりとこれを基盤とした豊かな集団生活が営まれる学校づくりに資する。（校名変更による更なる一体感）

2 一貫校による効果

- ①義務教育9年間を見通した小・中一貫教育により、義務教育で身につけるべき資質や能力、態度などの育成が円滑に行える。
- ②校舎一体型小中併設学校による小中学校教諭の相互乗り入れ授業、小中合同行事（運動会、浦戸合宿、演劇活動）の実施が継続できる。
- ③島の自然環境や教育力を活用しながら、校種を越えた学び合いや少人数による個に応じた手厚い指導が継続できる。さらに、今後は教育課程に明確に位置付けることができ、充実した活動に発展させることができる。
- ④魅力的で特色ある教育課程の実施により、意欲ある特認児童生徒の入学、転入を促す。

3 特色ある取組等の例

- ①スカイプによる青山学院大学の留学生との「英会話交流」の実施（コミュニケーション能力の育成）
- ②総合的な学習の時間における全校演劇「ACT」の実施（表現力等の育成）
- ③全校児童生徒の参加による「浦戸合宿」の実施（地域との交流）
- ④算数・数学科におけるTTによる個に応じた指導の実践（学力の向上）

<参考> 平成26年度 浦戸特認校児童生徒数（児童生徒34人中 新規8人）

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	全児童生徒数（島内児童生徒）
浦二小	2	5	1	1	1	7	17	21（1年2、3年1、6年1）
浦中	3	5	2				10	13（2年1、3年2）
合計							27	34（小4・中3）

HP文化の港シオーモ 「震災記伝」更新→充実

東日本大震災の記録と記憶を伝え、未来の塩竈を考えます。

塩竈の文化財・芸術・文学作品をインターネットで鑑賞できる Web ミュージアム〈文化の港シオーモ〉。そこで展開している「震災記伝」の内容を更新し、東日本大震災の記録写真や文集を追加しました。記録を保存するアーカイブとして充実したとともに、あらためて当時と向き合い、未来の塩竈を考えることができるページになりました。



【Logue311】

「塩竈フォトフェスティバル2013～Logue311」で展示した塩竈の震災以前・当時・現在の記録写真を掲載。



【東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査】・・・

宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会が東北アジア研究センターに委託して行った調査の報告集をPDF形式で掲載。浦戸寒風沢地区での調査報告も掲載されている。



【震災体験文集 3.11 塩竈っ子へ】

東日本大震災を体験した塩竈の子どもたちや先生たちによる、その時の気持ちや思いを記録した貴重な文集。

◆「文化の港シオーモ」は・・・

塩竈市の文化財・美術工芸品・文学作品などをインターネット上で展示しているHPです！

<http://shiomo.jp/shinsai> 担当：塩竈市教育委員会生涯学習課 [TEL 022-362-2556]

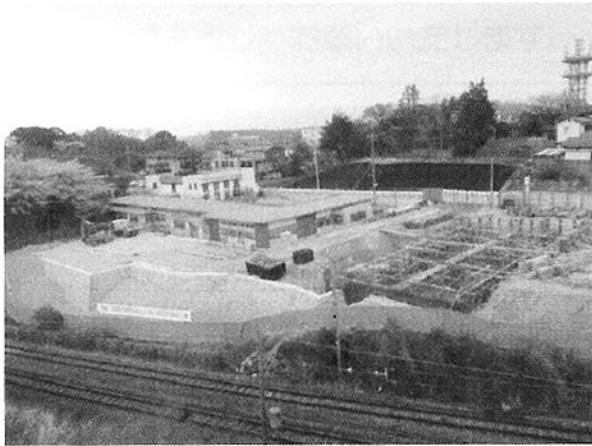
長い間住み慣れた土地で、
安心した生活をいつまでも送れるように



震災復興推進局

1 錦町地区災害公営住宅の建築工事が始まります

錦町地区災害公営住宅では、基盤整備工事、基礎工事を終え、連休明けから建築工事が始まり、年内の完成を目指して作業を進めています。



2 伊保石地区「絆の道（仮称）」記念植樹祭を開催します

(1) 概要

伊保石地区災害公営住宅敷地内において、復興支援を頂いた各都市の花などを植樹する記念植樹祭を開催します。震災復興を縁とする絆のシンボルとして、また、災害公営住宅の入居者や周辺住民の交流の機会として行うものです。花の種類は日日草（糸満市）、クチナシ（南城市）、レンゲツツジ（須坂市）などを予定しています。

- (2) 日時 平成26年5月下旬
(3) 場所 伊保石地区災害公営住宅敷地内
(4) 参加者 入居者、近隣住民
(5) 主催 塩竈市
UR都市機構

※詳細は決まり次第お知らせします。

3 北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業について

事業の進捗状況をまとめた「まちづくりニュース」を発行しました。（別紙）

〈お問合せ〉

震災復興推進局復興推進課

◆災害公営住宅・記念植樹祭について
住宅基盤復興係 364-1111（内342）

◆まちづくりニュースについて
都市基盤復興係 364-1111（内345）

愛知県碧南市から被災した塩竈市民への特別支援

愛知県碧南市からは災害支援業務に職員を派遣しています。それを縁に塩竈市とはイベント交流や「災害時における相互応援に関する協定」を締結し、様々な交流が生まれています。
また、碧南市は日本一の生産量を誇る「三州瓦」の産地。被害にあった塩竈市民の住宅再建と三州瓦の振興を目的に業界団体と連携して一戸あたり10万円の補助制度を創設されました。

三州瓦を使った住宅再建に10万円の助成

- 支援の対象
 - ・東日本大震災で半壊以上の罹災証明を有すること
 - ・三州瓦を使い、平成26年4月1日以降に着工する建物
 - ・葺き替えも対象になります。（罹災証明不要の場合もあります。）
- 補助の内容
 - ・一戸あたり10万円
 - ・予算の範囲内で先着順となります
- 申請手続き
 - ・ホームページから申請書と屋根施工業者による「ガイドライン工法宣誓書」を着工前までに提出
- 申請・問合せ先

愛知県陶器瓦工業組合（担当）稲垣・奥谷
〒444-1323 愛知県高浜市田戸町1-1-1
Tel.0566-52-1200 Fax0566-52-1203 電子メール info@kawara.gr.jp
ホームページアドレス <http://www.kawara.gr.jp>



三州瓦とは

三州は愛知県の西三河地方を指し、江戸時代から日本の瓦の三大産地になっています。現在の主要産地は同県の高浜市、碧南市、半田市です。

製造方法において他の瓦ととくに異なる点は、焼成の段階で、1130℃の高温で13～16時間かけて焼きしめられていることです。

そのため、豪雨や台風の時でも水をはじき、雨漏りを防ぐとともに、寒冷地によく起こる瓦のヒビ割れや、はく離などの凍害から守り、さらに、耐火性にも優れ火災時の類焼も防ぐという高い性能を備えたものが三州瓦です。



*申請から助成金交付までの流れは裏面をご参照ください

災害等救援対策事業 「たすけてハンカチ」について

塩釜市社会福祉協議会では、東日本大震災後に障がい者の方々から「避難時に意思を伝える物が欲しかった」という声をいただき、このハンカチを作成しました。

このハンカチは、災害時や緊急時に障がい者（聴覚、知的等）の方々が、周りの人に助けを求める時にご利用いただけます。配布につきましては、各福祉団体、施設を通してお渡しをさせていただきました。

市民の皆様、有事にこのハンカチを見かけましたら、是非お手をお貸しください。ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

- ・ 配布時期 4月中旬
- ・ 作成枚数 300枚
- ・ 配布先 身体障害者福祉協会、あしたば福祉会、みみサポ（聴覚障害者の方々）

〈お問合せ〉

塩釜市社会福祉協議会（塩釜市北浜四丁目6-52、TEL022-364-1213）

